

中間支援活動助成(基本)事業 実績報告

団体名	(特非)コミュニティアートセンターブラッツ	代表者名	(職名) 代表理事 (氏名) 岩崎 孔二
事業名	地域の活動者掘り起こしと、協創の土壌醸成事業		

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 調査研究等 件数
R5 実績	13回	2件+随時提供	45人/4回	3件	0件
R6 計画	15回	2件+随時提供	50人/4回	4件	0件
R6 実績	11回/8件	2件+随時提供	47人/4回	0件	0件

< 効果と成果 >

但馬コミュニティ協創会議を重点事業に置き、年間2回開催したが、参加者数に差はあるものの多世代・異業種のセクターから参加があり、いずれも満足度の高いものとなった。特に若者の参加は会においても大きな効果があり、考え方などが偏りがちな大人の思考を柔らかくさせる、もしくは変えさせる程のものがある。

若者視点の意見は大人とは違い固定概念に捉われず、自由な発想から生まれるアイデアや提案を投げ込んでくれる。

2回の会議では企業と地域おこし協力隊が協創し地域のデジタルリテラシーを高めるイベントとして、地域コミュニティなどでの「スマホ教室」の開催、障がい者・引きこもりの人と人手不足の企業との人材マッチングとし「ジョブフェア」を企画するなど成果が生まれている。

また、芸術文化観光専門職大学との連携として、大学のサークルからNPO法人を設立した但馬アーツコモンズは学内のみならず文化事業などを中心にSNSを駆使した広報活動を展開しており、当該会議においても協力してくれており、当方ではアプローチできない層への周知を行うことでより広く情報を届けられている。

会議の場で交流するだけでなく、実際にそこで生まれた「協創の芽」を大きくしていくような動きが自然発生的に生まれており、この会の意義が実践されている成果であり、引き続き継続していきたいと考えている。

相談業務は少ないながらも但馬唯一の必要不可欠な相談場所としてその機能を維持していかなければならないと思う。

< 今後の展望 >

但馬コミュニティ協創会議を2回開催し、計57名(属性は企業社員・NPO法人スタッフ・社会福祉協議会職員・医師・社会保険労務士・地域おこし協力隊など)の方に参加していただき、会の中で前回に生まれた「協創事例」を紹介することにより、会としての繋がりができ、新たな参加者にとって疎外感なく参加いただけた。また、参加者の半数程度が新規であり、地域の活動者や想いのある人々の参加が促進されていることも大きな成果であると言える。

課題としては「潜在的な地域の活動者の掘り起こし」は進んでいるが、それらの多くは豊岡市民であり但馬各地からからというわけではないので、その他地域からの参加者をどう増やすか考えていく必要がある。

人材育成を目指す講座などの開設においては、「ファシリテーター養成講座」の参加者が多く、大変好評であった。これはイベントの企画会議などの場が増えていることもあり、その場をいかに効率よく進めるかという課題に対してファシリテートの重要性が求められている結果ではないかと考えている。ただ、ファシリテーターの役割がその場面

によって変わるため全てを網羅するような内容の講義は難しく、テーマを絞ったものを継続して行う必要を感じている。

「税セミナー」では、地域おこし協力隊で活動している方や個人でNPO活動を行っている方向けに個人事業主に必要な税制を学べる機会として、また相談業務に必要な知識としても有意義な内容であった。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己財源等	117,130
合 計	617,130

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	支払報酬料	150,000	150,000
	旅費交通費	52,740	48,500
	人件費	168,900	168,900
	その他 (通信費等)	112,890	0
	小 計	484,530	367,400
間接経費 (一般管理費)		132,600	132,600
合 計		617,130	500,000